

平成30年度 会務報告 研修会

- (1) 第45回栃木県産婦人科医会・栃木県産科婦人科学会定時総会
ならびに栃木県産婦人科医会特別研修会
平成30年5月20日 宇都宮市医師会館
「安全な産科麻酔をめざして」
獨協医科大学 麻酔科学講座 山口重樹 先生
- (2) 産婦人科保険診療講習会・医業推進伝達講習会
平成30年10月20日 とちぎ健康の森 1階 大会議室
栃木県産婦人科医会社会保険委員会委員（保険審査委員）
栃木県産婦人科医会医療対策委員会委員
- ① 「平成30年度産婦人科保険診療報酬改定のポイント」
 - ② 「保険請求および審査について まちがしやすい事項
ーレセプト審査会便りからー」
 - ③ 「産婦人科外来診療の収益改善を目指して」
 - ④ 「妊婦健診公費負担制度の基本的な考え方と妊婦健診公費負担制度に関する用語の使用法について」
- (3) 栃木県医師会母体保護法指定医師研修会
平成30年11月18日 とちぎ健康の森 2階 講堂
- 第1部
- ① 「母体保護法の趣旨と適正な運用」
栃木県医師会母体保護法指定医師審査委員会委員 大草 尚 先生
 - ② 「人工妊娠中絶手術に関する医療安全と救急処置」
栃木県医師会母体保護法指定医師審査委員会副委員長 丸山正次 先生
 - ③ 「母体保護法と生命倫理」
栃木県医師会母体保護法指定医師審査委員会委員 岸本恭紀 先生
- 第2部
- ① 「小児科の立場から本県の実情」
吉成小児科医院長 吉成仁見 先生
 - ② 「HPV ワクチンについて」
日本産婦人科医会常務理事、自治医科大学名誉教授
新百合ヶ丘病院がんセンター長 鈴木光明 先生
 - ③ 「ワクチンで守れる『10万個の子宮』」
京都大学医学研究科非常勤講師・医師
ジョン・マドックス賞受賞者 村中璃子 先生

令和元年度 事業計画（案）

1. 本会の事業目標

- (1) 母体保護法の適正なる運営と実施の推進
- (2) 母体保護法に関する啓発
- (3) 母子保健に関する調査研究
- (4) 先天異常対策
- (5) 会員の学術研修
- (6) 会員の品位向上と福祉推進
- (7) その他目標達成に必要な事業

2. 本年度の事業目標

- (1) 母体保護法対策及び出産給付対策
- (2) 医療事故防止、医事紛争対策の充実
- (3) 医療経営の合理化と強化対策
- (4) 医の倫理の高揚
- (5) 第46回日本産婦人科医会学術集会参加協力
令和元年10月13日（日）（東京：担当 日本産婦人科医会）
- (6) 会員の研修
- (7) 先天異常対策
- (8) 社会保険対策
- (9) 関東ブロック産婦人科医会協議会及び社保協議会参加協力
令和元年度関ブロ協議会・社保協議会 長野県担当（長野県 木村医会長）
日時：令和元年9月29日（日）
於：ホテルメトロポリタン長野
- (10) 第135回関東連合産科婦人科学会参加協力
令和元年度関東ブロック産婦人科医会・関東連合産科婦人科学会共催シンポジウム
日時：令和元年6月16日（日）14：30～16：00
於：都市センターホテル
テーマは、産婦人科 婦人科内視鏡手術と不妊症（長野県産婦人科医会担当）
- (11) 思春期医療の推進：学校への性教育講師派遣の拡充
第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会参加協力
令和元年7月28日（日）（大阪市：担当 大阪産婦人科医会）
- (12) 母子保健の推進
- (13) 子宮癌施設検診の拡大および受診率の向上、HPV-DNA併用検診の推進、
子宮頸がん予防ワクチンの普及
- (14) 日本産科婦人科学会への参加
- (15) 栃木県産科婦人科学会学術集会への参加協力
2回（令和元年9月1日（日）自治医大、令和2年2月2日（日）獨協医大）

(16) 栃木県母性衛生学会への参加協力

令和元年6月23日(日)(自治医大看護学部)

(17) 関連医系団体、医師会、行政機関との連絡、協調

(18) 医政対策

(19) おぎゃー献金の推進

(20) 勤務医対策の推進

(21) 専門医登録への協力

(22) 中高年女性のヘルスケアの推進

(23) 「栃木県産婦人科医報」の発行